Xamarin インストール・事前作業手順書

(2016/10/28 更新)



Japan Xamarin User Group 田淵義人@エクセルソフト

<u>@ytabuchi</u> <u>ytabuchi.xlsoft</u>

はじめに

本ドキュメントでは、Xamarin のインストールから Xamarin.Forms のデバッグ実行までをカバーします。トレーニング、ハンズオンを行う前に、Xamarin.Forms アプリを実行するまでを行ってください。特に Android 開発をする方は、初回ビルドに大量のダウンロードが発生しますので、従量制限なしのネットワーク環境で作業を行っていただくことを強くお勧めいたします。



目次

Xamarin インストール SDK更新や開発者登録 Xamarin でビルドのテスト Microsoft Azure アカウントの準備(必要に応じて)



Xamarin 対応環境一覧

Xamarin は様々な OS 向けのアプリを各種 IDE で開発できます。 〇の付いているアプリが開発可能です。

	Windows	Mac OS X
	Visual Studio	Xamarin Studio
iOS	〇 (要Mac)	
Android		
Mac	×	
UWP		×
Windows Phone		×
Windowsストア		×



必要な作業

Xamarin のインストール、アップデートSDK 更新や開発者登録

Android SDK 更新 (Windows / Androidの場合)

Apple Developer Program 加入、プロビジョニングプロファイルの準備 (Mac / iOS の場合)

実機または Simulator / Emulator でデバッグ実行



Xamarin インストール

Xamarin インストール

Windows (新規)

次のスライド以降の手順を参照してください

Windows (追加)

VS 2015 の場合は <u>Update 3</u> に VS 2013/2012 の場合は <u>Xamarin をダウ</u> ンロード

[I already have Visual Studio installed] をチェック

Windows に Xamarin.Android をインストール: XLsoft エクセルソフト を参考にインストール

Mac OS X

最新の Xcode と iOS SDK をダウンロード、 インストールします

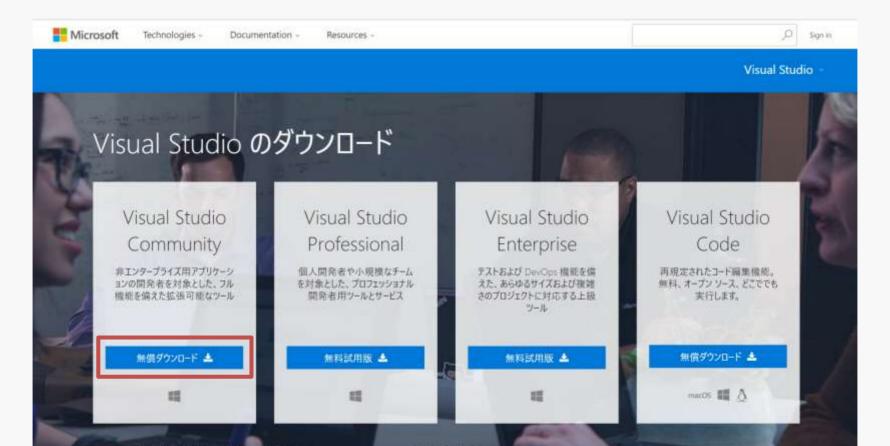
Xamarinをダウンロードします

Mac に Xamarin.iOS をインストール:
XLsoft エクセルソフト を参考にインストールします



Visual Studio 2015 Community のダウンロード

https://www.visualstudio.com/ja/downloads/にアクセスし、Communityの[無料ダウンロード]をクリックします。Visual Studioの有償ライセンスをお持ちの方はそちらをご利用ください。





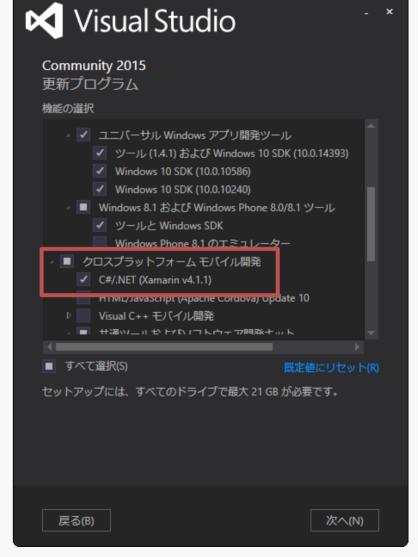
Visual Studio インストール

Visual Studio 2015 にはXamarin のインストーラーが含まれています。

「カスタム」を選択し、「クロスプラットフォームモバイル開発 > C#/.NET (Xamarin v4.x)」をチェックしてインストールします。

自動的に、Android ネイティブ開発キット(Android NDK)、Android SDK、Android SDK(API 各種)、Java SE 開発キット(7.x)がインストールされます。

Visual Studio Emulator for Android はお勧めしません。(後述)





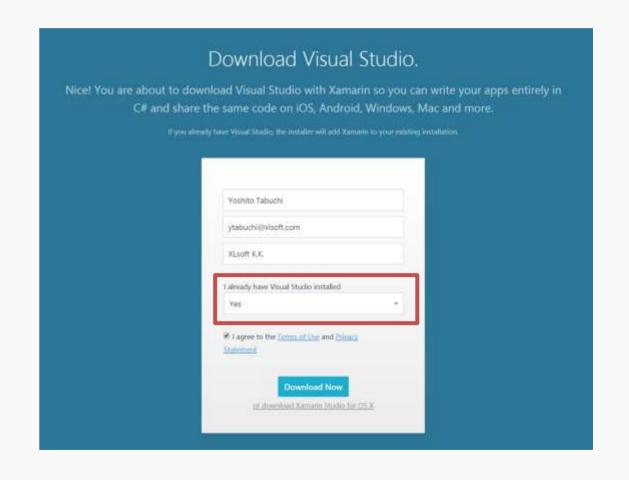
Visual Studio インストール時の注意点 1

Android SDK が既にインストールされている場合

Visual Studio のインストールで Xamarin をインストールせずに、後で Xamarin だけをインストールします。

http://xamarin.com/download から、 [I already have Visual Studio installed] で Yes を選択します。

Xamarin のインストーラーでインストールする際に、インストール済みの Android SDK の Path を指定してください。





Visual Studio インストール時の注意点 2

Visual Studio Emulator for Android について

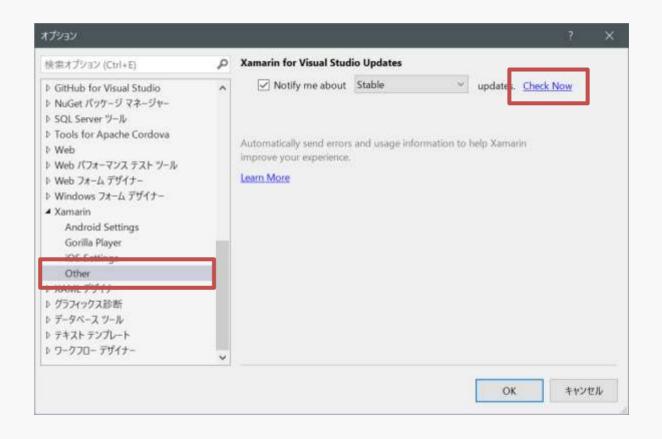
標準設定で 2GB のメモリを使用する点、HYPER-V が必須(Windows 10 Professional 以上)な点から、JXUG では使用をお勧めしません。

実機、または Android SDK に付属する Intel HAXM を使用した x86 Emulator でのデバッグを強くお勧めします。

Google Map や Ad などの GooglePlay Service を使用するアプリをデバッグする場合は、Google API のイメージを使用してください。



Xamarin を最新版にアップデート

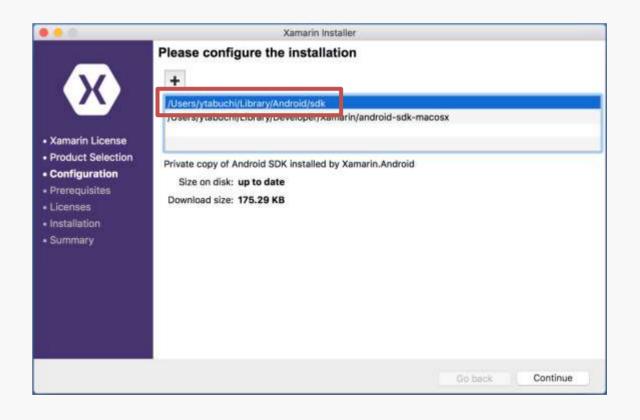




Xamarin Studio インストール

http://xamarin.com/download から Xamarin インストーラーをダウンロードしてイ ンストールします。

既に Android SDK をインストール済みの場合は既存の SDK を指定します。認識していない場合は + ボタンでパスを指定します。





Xamarin Studio の更新

Xamarin Studio をインストールしたらまずは メニューの [Xamarin Studio Community > 更新の確認] で最新版を入手、インス トールします。





SDK更新や開発者登録

Java 8 インストール

Android 7.0 Nougat から Java 8 がサポートされたため、API 24以上をインストールする場合は Java 8 の JDK が必要です。

http://www.oracle.com/technetwork/java/javase/downloads/index.html からJDK をダウンロード、インストールしてください。

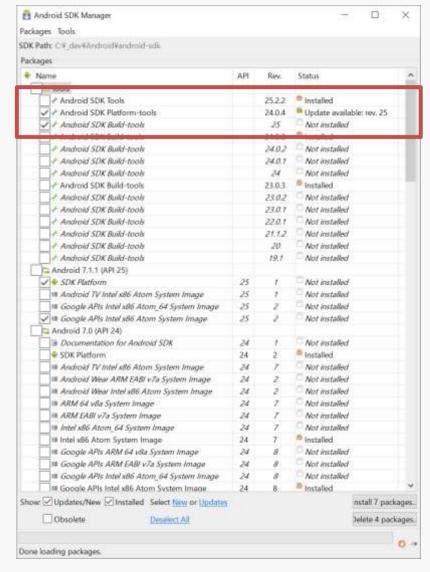
詳しくは http://ytabuchi.hatenablog.com/entry/2016/10/03/180000 をご参照ください。



Android SDK 更新

Visual Studio メニューから [ツール > Android > Android SDK Manager] をクリックして、 [Android SDK Tools] [Android SDK Platform-tools] を最新にします。

2016/10/24 現在 API 25 をインストールしても問題ないようです。





Android SDK 更新

[SDK Platform] をインストールします。

7.0, 6.0, 5.1, 5.0, 4.4, 4.1, 4.0

Extra をインストールします。

Android Support Repository, Android Support Library, Google Play services, Google Repository, Google USB Driver

Intel x86 Emulator Accelerator (HAXM Installer) *Emulator利用時の み

その他の Library は必要に応じてインストール







実機用ドライバーインストール(Windowsのみ)

Android Device の確認

実機を使用する場合は、デバイスマネージャーを開き、 [Android Device] に [Android Composite ADB Interface] があるか確認します

無い場合は、お持ちの Android 端末のメーカーサイトから、ドライバーをダウンロードしてインストールしてください

Nexus シリーズの端末は<u>こちら</u>からダウンロードできます





Android 端末を開発者モードに

開発者モードの確認

Android 端末の [設定] 画面を開きます。 [開発者向けオプション] があるかを確認します

無い場合は、[端末情報] (に準じたメニュー)をタップして、[ビルド番号] を 7回タップして開発者モードにします







Android Emulator を使用する場合

ご利用の仮想環境によって最適な Emulator を選択してください。 詳しくは以下をご参照ください。

Windows で動作する Android 仮想環境の比較まとめ

2016年10月現在では、Google 純正のx86 Emulator を強くお勧めします。インストール方法は以降のスライドをご参照ください。



HAXM (Intel x86 Emulator Accelerator)

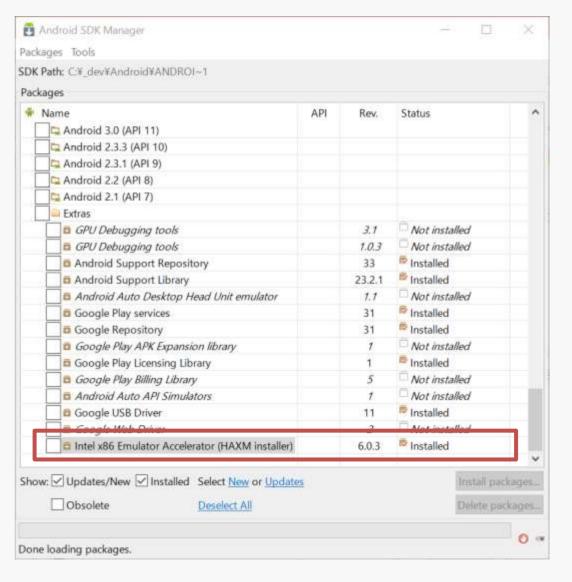
HAXM インストール

SDK Manager の一番下にある HAXM を チェックして「ダウンロード」します。

Android SDK インストールフォルダ

%ProgramFiles(x86)%¥Android¥androidsdk¥extras¥intel¥Hardware_Accelerated_E xecution_Manager

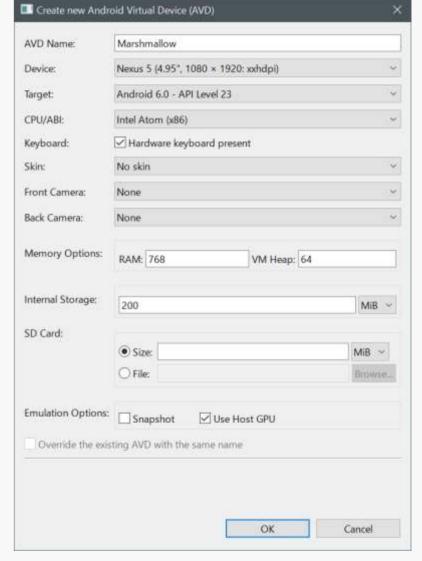
に intelhaxm-android.exe がダウンロードされますので、実行して「インストール」します。





HAXM (Intel x86 Emulator Accelerator)

右の例を参考に AVD を作成します。 Windows の場合メモリは 768MB が最大です。





Apple Developer Program 登録 (Mac)

Apple Developer Program 登録

開発した iOS アプリを iOS デバイスにデプロイするには、Apple Developer Programへの加入をお勧めします。iOS Simulator へのデプロイであれば加入不要です。

加入後は Xcode 6.x で実機デバッグするまでの簡単な流れ を参照して、 Provisioning Profile 登録してください。

現在は Free Provisioning でもデプロイ出来るようになりましたが、Xamarin Studio, Visual Studio では手間がかかります。

詳しくは Xcode 7 と Xamarin Studio Starter で 1 円も払わずに自作 iOS アプリを実機確認する を参照してください。



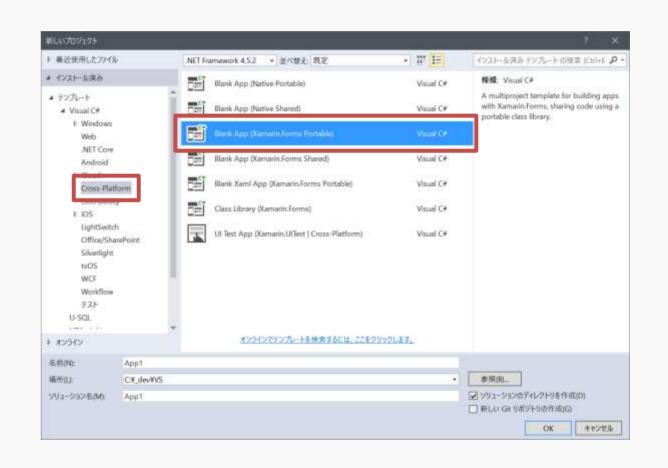
Xamarin でビルドのテスト

Xamarin.Forms アプリを作成 (Windows)

Blank App 作成

Visual Studio メニューの [ファイル > 新規作成 > プロジェクト] をクリックし、 <math>[新しいプロジェクト] ダイアログで [Visual C# > Cross-Platform] を選択します。

中央のテンプレートから [Blank App (Xamarin.Forms Portable)] を選択して、「OK」をクリックします。





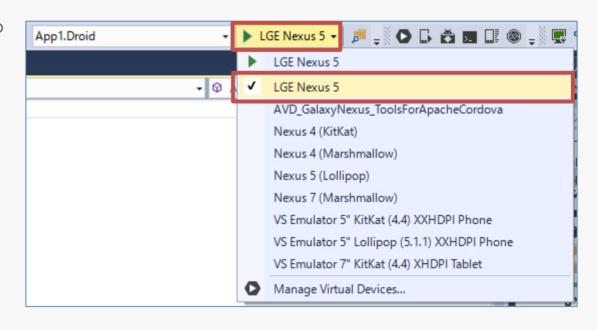
Xamarin.Forms アプリをデバッグ実行 (Windows)

デバッグ実行

ドロップダウンから実機または Emulator を 選択し、 [▶] ボタンでデバッグ実行します。

Xamarin.Forms の Android アプリをビルドすると、初回に必要な Android Support Library をダウンロードするため、かなり時間がかかります。

ビルドを停止してしまうとその後のビルドが失敗する場合がありますので、終了までじっくり待ってください。





Xamarin.Forms アプリをデバッグ実行 (Windows)

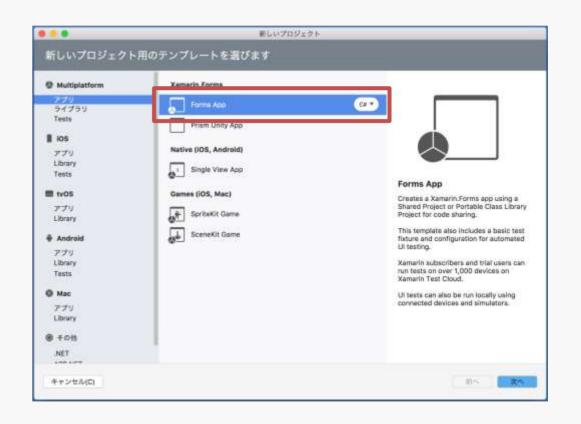
次の画面が実機に表示されれば完了です 写真は Android 6.0 がインストールされた Nexus 5 の実機





メニューから [ファイル > 新しいソリューション] をクリックします。

[Multiplatform] の [アプリ] から [Forms App] を選択し、 [次へ] をクリッ クします。

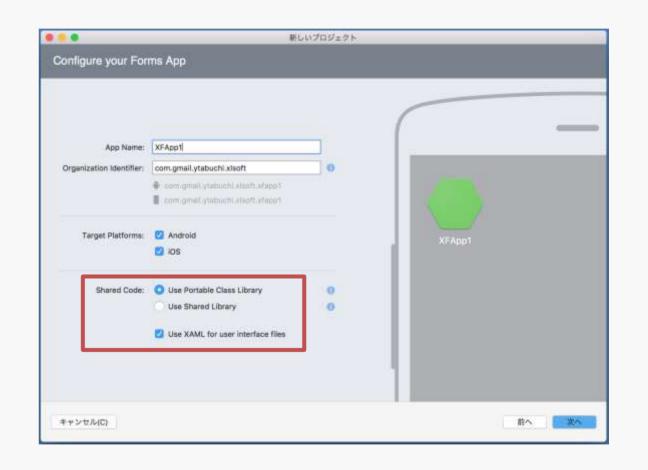




[App Name] に任意の名前を入力します。

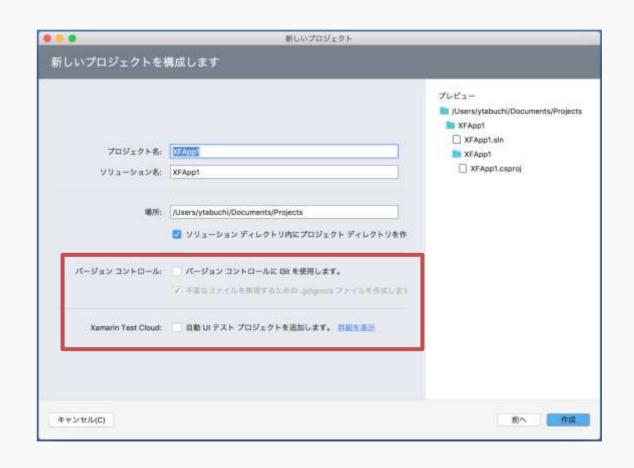
[Shared Code] 欄の [User Portable Class Library] にチェックが入っていることを確認し [次へ] をクリックします

[Use XAML for user interface files] にチェックが入っていると、App.xaml / App.xaml.cs のエントリーポイントが作成されます





「バージョンコントロール」と [Xamarin Test Cloud] のチェックを外し、 [作成] をクリックします





[Debug] の右側のドロップダウンから接続している実機または Simulator を選択し、[▶] でビルド、デプロイを開始します。

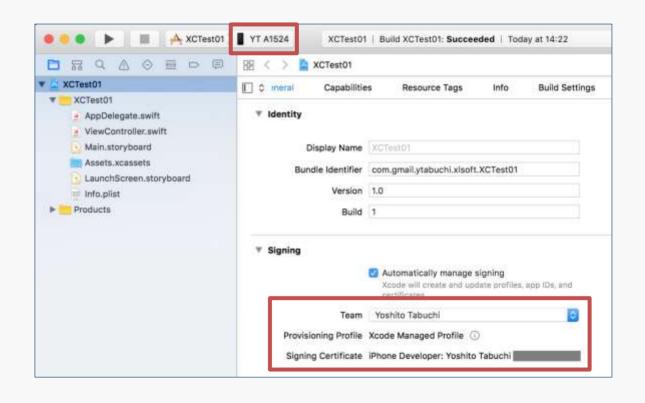




Xamarin Studio から iOS デバイスにデプロイ (Mac)

最初にXcode で正しいプロビジョニングプロファイルで実機にデプロイできることを確認します。

次に Xamarin Studio でデバッグします。





次の画面が実機または Simulator に表示されれば完了です

写真は iPhone 6 Plus の実機





Microsoft Azure アカウントの準備

Azure のハンズオンをやる方は必ず確認してください

Microsoft Azure アカウントについて

Xamarin のハンズオンには Microsoft Azure を使用するコースが含まれているため、何らかの Azure のアカウントが必要です。

MSDN

MSDN Subscription をお持ちの方は、そのアカウントを使用してください。

学生

<u>Microsoft Imagine (旧DreamSpark)</u> を利用してください。

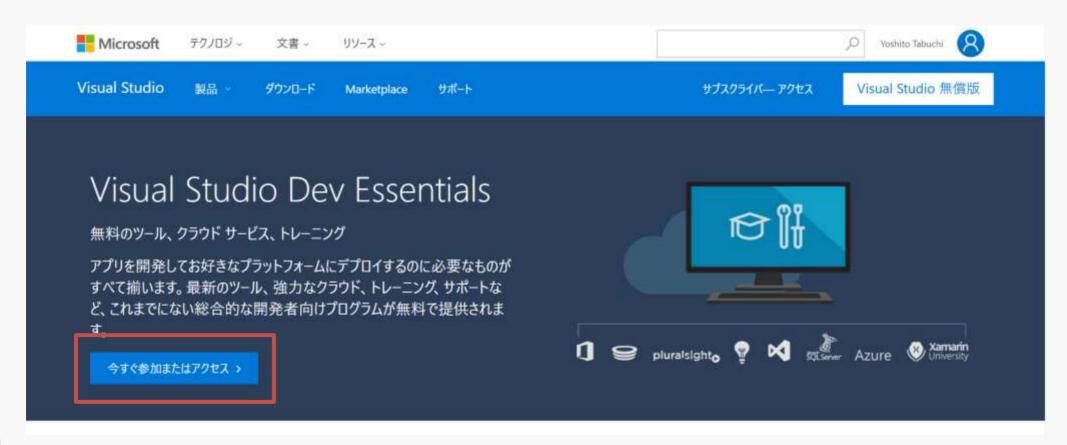
Visual Studio Dev Essentials

登録無料の開発者用プログラムです。1年間毎月\$25(現在は3,000円)のAzureが利用できて、更に Xamarin ユーザーには嬉しい Syncfusion も1年間無料で使えます。



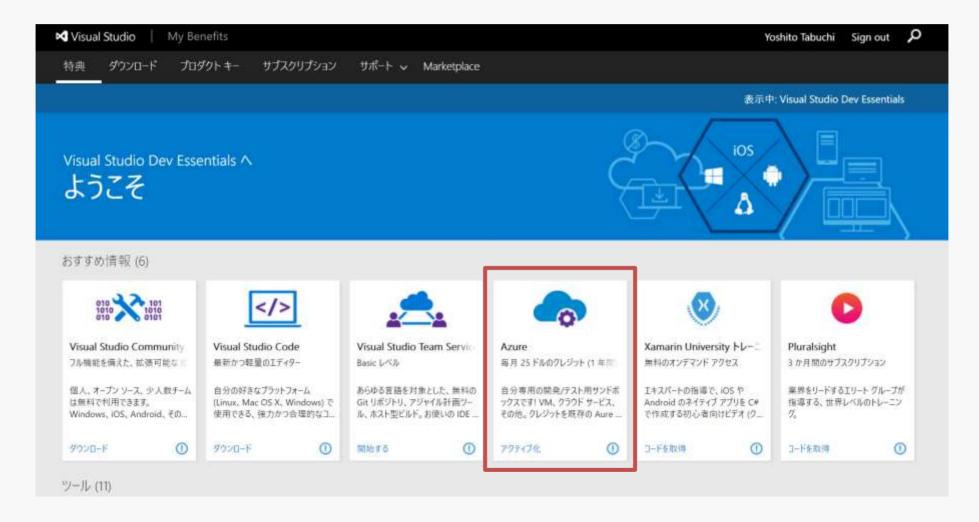
Visual Studio Dev Essentials 登録

https://www.visualstudio.com/ja/dev-essentials/にアクセスし、「今すぐ参加またはアクセス」をクリックします。





Azure のアクティブ化をクリックします。





電話番号を入力し、SMS か音声でコードを受け取ります。

1 🕒	電話による本人確認		0
	日本 (+81)		
		テキスト メッセージを受信	
		電話で確認コードを受け取る コードの確認	



クレジットカード情報を入れます。勝手に課金されることはありませんのでご安心ください。

支払い方法	
#1,000,000 n=60720+n=6	
VISA MATERIAL MATER	
* 有効期限 * セキュリティコード G	
* クレジット カードの名前	
VOSHITO TABLICHI	
* 郵便業年	
* 都直府框	
* 你还能材	
* 住所 1	
住所 2	
HSTV101-	
電話番号	
- 15 A ALE 6-11 -	



購入をクリックしてしばらく待ちます





[サービスの管理を開始する]をクリックして Azure Portal に移動します。

Microsoft Azure へようこそ。

サブスクリプション - 開発者プログラム特典

サブスクリプションの準備が整いました。

サービスの管理を開始する >

For Technical support, buy a support plan

Your subscription includes unlimited 24 x 7 billing and subscription support.

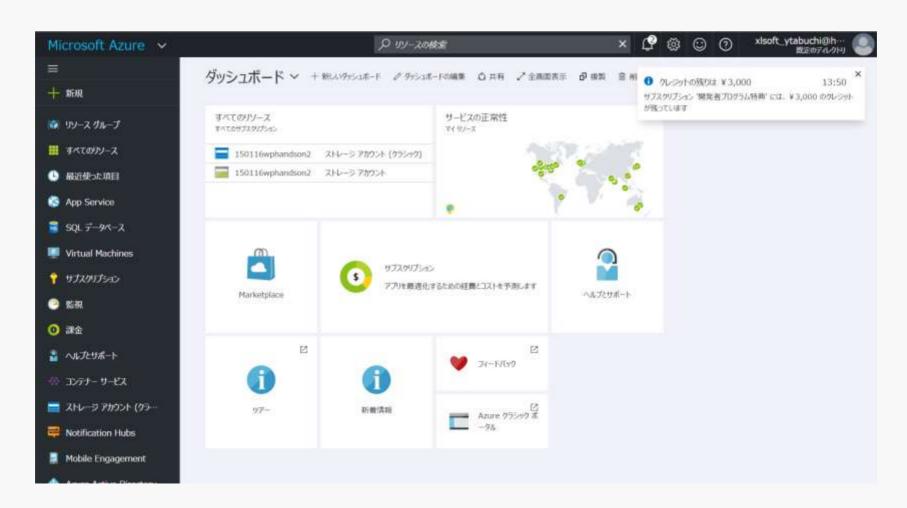
For one-on-one technical support, you'll need a support plan.

Compare support plans •



Azure Portal

http://portal.azure.com にアクセスできるようになりました(^^)





お疲れ様でした

ハンズオン会場でお待ちしております(^^)